

2050年の大阪の将来像に関するご意見

橋爪 紳也 様

- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の考え方から、2050年の大阪の将来像の検討に向け、3つのキーワード【健康、持続可能、国際都市】を設定しました（別添有識者WG資料3，4ページ目を参照してください。）。それぞれの観点を参考に、委員の皆様が現時点で考える2050年の大阪のあるべき将来像があれば、自由に記載してください。

なお、キーワード以外の事項についても、幅広く記載いただいても結構です。

◆ 前提となる考え方

- ・ 世界人口100億人の時代
 - 世界規模で少子高齢化が進展
 - 国連の推計では2050年97億人、2100年に109億人となり、平衡状態になる
 - 持続可能な開発の必要性が国際的な課題となる
- ・ 平均寿命100歳の長寿社会とテクノロジーの進展
 - ライフサイエンスや医療の発展により、一部の国々は長寿化が一層進展する
 - ロボットやAIの進歩によるライフスタイルの革新
- ・ 真の国際化の時代
 - 生産人口の不均衡を受けて、国境を超えた労働力の流動性が高まる
 - 多様性を包摂する社会が求められる
 - 経済成長を達成した国や地域から、国境を越える旅行者が増加する
- ・ メガリージョン間の競争激化
 - 世界各地で大都市への人口集積が進行
 - 産業、投資、価値創造の各領域にあって、メガリージョン間の競争が激化

◆ 2050年の大阪に求められるもの 誰もが自己充足を感じる未来社会の実現

- ・ 「課題先進都市」から「課題解決先進都市」への転換
 - 大阪・関西万博で提示されたSociety5.0のモデルを府下に実装
 - 少子高齢化の対策などの経験を踏まえた先進的な課題解決システムの構築
 - 大震災に対する次世代型の備え 新技術を活かした防災、災害時対策など
- ・ 誰もが自己充足を感じる社会の実現
 - 多文化共生・社会的包摂を実現する次世代の教育モデル
 - ウォーカービリティ、環境やウェルネスに配慮した高質な生活空間の提供
- ・ 国際的な「共創」を促進する社会基盤の整備
 - 大阪・関西万博の前後で実践された「共創」のプラットフォームを発展
 - 高度な研究および技術開発の促進、産業のスタートアップ支援策の構築
 - 大阪に対する新たな投資の受け入れ環境の整備

- ・ 東名阪スーパーメガリージョンの優位性を高めるための基盤整備
 - リニアおよび新幹線網の再編を基軸とした圏域内の交通ネットワークの再構築
 - 高度経済成長期から21世紀初頭に整備した都市基盤の再生、次世代型の港湾整備
 - 持続可能な開発を担うエネルギーの確保
 - 地域の歴史性や文化的特性を活用した文化創造産業の振興

- ・ 大阪・関西万博のレガシーの活用
 - 1970年大阪万博、1990年花博、2025年大阪・関西万博のレガシーを貫く概念の整理
SDGsの達成を経て、SDGsネクストに向けた施策の発案と政策転換

将来像の実現に向けて、克服すべき課題や取組みの方向性がありましたら、
記載してください。

-----ご記載いただく上での留意点-----

- 参考資料として添付している「大阪のめざすべき将来像を考えるうえでの視点」や「大阪の現状」、「人口推計」等をご参照のうえ、自由にご意見を記載してください。
 - WG 当日に、各委員の説明時間（5～10分）を設けますので、資料の補足事項は、その際にご説明いただけます。
 - 今後の取組みの方向性は、行政に限らず、民間などの取組みも含めて幅広く記載いただいても結構です。なお、本ビジョンが、2025年を目標年次としていることから、2025年に向けた取組みの方向性を記載してください。
 - 行数が不足する場合は、適宜、新たな行を追加してください。
 - ご提出いただいた本様式は、資料として配布するとともに、WG 終了後、HP 上で公表いたします。
 - 本様式以外に、第1回WGで提出を予定されている資料があれば、併せてお送りください。
-